



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 リアルビジョン

コード番号 6786 URL <http://realvision.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉山 尚志

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 三須 貴夫

TEL 045-473-7331

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	40	△91.2	△76	—	△82	—	△82	—
23年3月期第1四半期	456	4.6	△135	—	△167	—	△107	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △68百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △95百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△2,011.46	—
23年3月期第1四半期	△2,617.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	1,129	1,055	93.5	25,633.20
23年3月期	1,262	1,124	89.0	27,297.13

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,055百万円 23年3月期 1,124百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	150	△85.2	△155	—	△180	—	△181	—	△4,394.70
通期	550	△78.0	△200	—	△175	—	△177	—	△4,297.58

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	41,187 株	23年3月期	41,187 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1 株	23年3月期	1 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	41,186 株	23年3月期1Q	41,186 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）のおかれましては経営環境につき、世界経済は、中国をはじめとした新興国が堅調に推移したものの、米国の景気回復の遅れや欧州の財政危機等により、不安定な状況が続いております。国内経済は、東日本大震災による甚大な被害や電力供給の制限、さらに為替が円高基調にあり、企業を取り巻く環境はきわめて厳しい状況にあります。

エレクトロニクス業界につきましては、東日本大震災で製造設備が被災し、製品及び部品等の供給網が寸断されたことにより、生産活動は停滞し、低調に推移しました。

このような状況下、当第1四半期の業績は、前連結会計年度第4四半期に韓国のWIDE Corp.（以下、WIDE社）が当社連結子会社から持分法適用関連会社に異動したこと等により、売上高は40,406千円（前年同期比91.2%減）となりましたが、販売費及び一般管理費の削減に努め（同64.2%減少）、営業損失は76,936千円（前年同期営業損失135,724千円）、経常損失は82,489千円（前年同期経常損失167,086千円）、当期純損失は82,844千円（前年同期当期純損失107,810千円）と前年同期と比較し損失は減少いたしました。

なお、WIDE社の当第1四半期の業績（韓国会計基準）は、ウォン高に推移したことで為替差損を計上し、若干の当期純損失となりましたが、売上高は前年同期比75.5%の増収となり営業利益を計上しております。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

1) グラフィックス関連事業

産業用グラフィックス事業につき、国内の医用向け画像システム及び航空管制向けグラフィックスボードの販売に注力しましたが、東日本大震災の影響が大きく、低調に推移しました。また、医用向けグラフィックスボードの新製品「UMDシリーズ」の開発を完了し、サンプル出荷を開始いたしました。一方、アミューズメント事業につき、大手遊技機器メーカーを中心に引き続き営業を推進すると同時に、開発のサポートを進めております。

この結果、売上高20,986千円（前年同期比94.1%減）、セグメント損失35,385千円となりました。

2) 部材関連事業

売上高19,419千円（前年同期比81.2%減）、セグメント利益470千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度期末と比較し133,338千円減少し、1,129,320千円となりました。資産の内訳は、流動資産が718,449千円（前連結会計年度末比109,128千円減）、固定資産が410,870千円（同24,210千円減）であります。流動資産の主な減少要因は、有価証券が50,065千円、現金及び預金が47,634千円減少したこと等であり、また、固定資産の主な減少要因は、WIDE社の社債償還により関係会社社債が30,460千円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、買掛金が35,660千円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較し64,808千円減少し、73,590千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、当四半期純損失82,844千円等により、前連結会計年度末と比較し68,530千円減少し、1,055,729千円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました連結業績予想からの変更はありません。今後、販売及び受注等の状況に応じ、開示ルールに従い、適時、公表してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	650,800	603,166
受取手形及び売掛金	65,337	53,399
有価証券	50,065	—
商品及び製品	49,227	49,921
仕掛品	7,041	6,174
原材料及び貯蔵品	6,765	9,352
その他	4,784	2,878
貸倒引当金	△6,444	△6,444
流動資産合計	827,577	718,449
固定資産		
有形固定資産	20,065	18,580
無形固定資産		
その他	2,884	2,517
無形固定資産合計	2,884	2,517
投資その他の資産		
投資有価証券	54,746	55,137
関係会社株式	338,530	346,240
関係会社社債	166,540	136,080
その他	10,621	10,621
投資損失引当金	△158,306	△158,306
投資その他の資産合計	412,131	389,773
固定資産合計	435,081	410,870
資産合計	1,262,658	1,129,320
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,426	11,765
引当金	15,250	7,146
その他	50,411	29,940
流動負債合計	113,088	48,852
固定負債		
退職給付引当金	17,800	17,413
資産除去債務	5,721	5,747
その他	1,789	1,576
固定負債合計	25,310	24,738
負債合計	138,399	73,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,022,725	3,022,725
資本剰余金	3,489,224	3,489,224
利益剰余金	△5,287,319	△5,370,163
自己株式	△185	△185
株主資本合計	1,224,444	1,141,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,199	△808
為替換算調整勘定	△98,984	△85,062
その他の包括利益累計額合計	△100,184	△85,871
純資産合計	1,124,259	1,055,729
負債純資産合計	1,262,658	1,129,320

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	456,742	40,406
売上原価	343,532	28,219
売上総利益	113,210	12,186
販売費及び一般管理費	248,934	89,123
営業損失(△)	△135,724	△76,936
営業外収益		
受取利息	983	3,515
その他	1,123	344
営業外収益合計	2,107	3,859
営業外費用		
支払利息	1,108	—
為替差損	32,279	3,200
持分法による投資損失	—	6,211
その他	80	—
営業外費用合計	33,468	9,412
経常損失(△)	△167,086	△82,489
特別利益		
貸倒引当金戻入額	28,484	—
その他	375	—
特別利益合計	28,860	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	924	—
特別損失合計	924	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△139,150	△82,489
法人税、住民税及び事業税	354	354
法人税等合計	354	354
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△139,505	△82,844
少数株主損失(△)	△31,694	—
四半期純損失(△)	△107,810	△82,844

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△139,505	△82,844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,671	391
為替換算調整勘定	40,070	—
持分法適用会社に対する持分相当額	—	13,922
その他の包括利益合計	43,741	14,313
四半期包括利益	△95,763	△68,530
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,783	△68,530
少数株主に係る四半期包括利益	△6,979	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グラフィックス 関連	部材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	353,354	103,387	456,742	—	456,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	353,354	103,387	456,742	—	456,742
セグメント利益又は損失(△)	△94,682	1,755	△92,926	△42,797	△135,724

(注) 1. セグメント損益の調整額△42,797千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△42,797千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グラフィックス 関連	部材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,986	19,419	40,406	—	40,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,986	19,419	40,406	—	40,406
セグメント利益又は損失(△)	△35,385	470	△34,915	△42,021	△76,936

(注) 1. セグメント損益の調整額△42,021千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△42,021千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(訴訟の提起)

当社は、平成23年7月20日（訴状送達日：平成23年7月26日）付けで東京地方裁判所において、訴訟の提起を受けました。訴訟の概要は、次のとおりであります。

1. 訴訟が提起された年月日および裁判所

- (1) 訴訟が提起された年月日：平成23年7月20日（訴状送達日：平成23年7月26日）
- (2) 訴訟が提起された裁判所：東京地方裁判所

2. 訴訟を提起した者（以下、原告）

(1)	名	称	株式会社ユーエスシー	
(2)	所	在	地	東京都品川区大崎一丁目11番2号
(3)	代表者の役職・氏名		代表取締役 丸山 保夫	

3. 訴訟の内容

- (1) 訴訟の内容：遊技機器向けグラフィックス「JIGEN-301」の売買代金の請求
- (2) 請求金額：1億7010万円

4. 訴訟に至った経緯

当社は平成21年11月6日に原告と「JIGENシリーズ」の東日本地区における優先的販売権を付与する販売代理店契約等を締結し、遊技機器向けグラフィックス「JIGEN-301」を販売いたしました。しかしながら、原告による販売が進展しない中、販売代理店交代の交渉等を原告と行っていたところ、販売した「JIGEN-301」の売買代金請求の訴訟の提起を受けたものです。

5. 事件に対する当社の意見

当社は、当該売買代金の請求に対する義務はないものと認識しており、原告からの請求については争う方針であります。